



個室ユニット 推進協ニュース Number 141

【発行】一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町 171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

- 1面 根本厚労相に沖縄大会出席を要請
"傾斜配分"を提案
国政ニュース、こちら傍聴席
- 2面 【特集】全国研修大会 in 沖縄 2018
- 3面 施設紹介【壱ノ町】(宮城)
取組紹介【しょうじゅの里三保】(神奈川)
取組紹介【ニューバード】(神奈川)
30年度改定要点ゼミ
- 4面 介護ニュース・ダイジェスト
ズバリ回答! 人事・労務のお悩み
用語解説、今後の予定、便利グッズ
新規入会施設のご紹介

根本厚労相に沖縄大会出席を要請

個室ユニット型の評価・支援求める 赤枝会長、根本厚労相と面談

全国個室ユニット型施設推進協議会(推進協)の赤枝雄一会長は10月17日、東京・霞が関の厚生労働省を訪れ、根本厚労相に「第12回全国研修大会 in 沖縄2018」(11月22日〜23日)への出席を依頼するとともに、先進国にふさわしい介護福祉施設として個室ユニット型特養への理解と整備の促進を求めた。

■沖縄大会出席の要請書手渡し

赤枝会長は大臣室で根本厚労相に「沖縄の研修大会へお出掛けください」と述べ、要請書を手渡した。根本厚労相は「スケジュールを見て検討したい」と答えた。



沖縄大会への出席要請書を渡す赤枝会長(左)と受け取る根本厚労相(厚労大臣室)

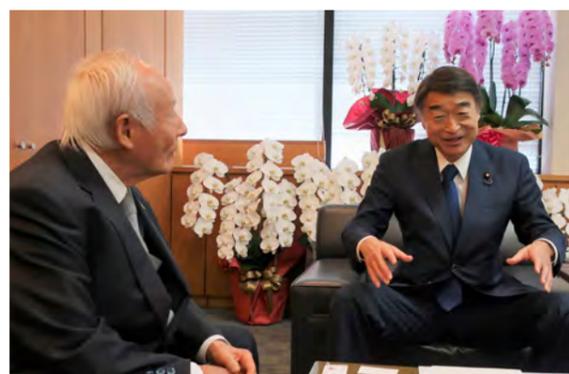
望んでいる。天井や壁に隙間が生じているような施設では尊厳を守ることは難しい。経済大国として、先進国として、ふさわしい日本の福祉・介護を構築するために国を挙げて個室ユニットを整備していただきたい

■先進国にふさわしい施設整備を

歓談の中で、赤枝会長は個室ユニット型特別養護老人ホームの意義や整備の必要性について「ほとんどの国民はプライバシーが保護され、人間の尊厳が守られている個室ユニット型特養への入所を希

い」などと述べた。

また推進協の要望として「ユニットケアに対する介護報酬上の適切な評価と支援」「低所得者や生活保護受給者が入所できる支援制度の整備」「介護ロボットやIoT、IoT化への助成と人員配置基準の緩和」などを求めた。



歓談する赤枝会長(左前)と根本厚労相(同)

“傾斜配分”を提案

新たな処遇改善で厚労省

10月31日、第163回介護給付費分科会が開かれ、厚労省は来年10月予定の消費増税に合わせて実施する「更なる処遇改善」として、経験や職種などに応じて介護報酬加算を傾斜して配分する対応案(新たな処遇改善加算案)を提示した。分科会は対応案を軸に意見を取りまとめる。傾斜配分の方法や算定要件が焦点となる。

対応案によると、事業所内で配分する場合、「経験・技能のある介護職員」「他の介護職員」「その他の職員」の順に傾斜して配分するという。厚労省は「勤続10年以上の介護福祉士への処遇改善を重点化する」とともに、他の職種にも配慮し、柔軟な運用にしたらどうか」などと説明した。

厚労省は算定要件として「キャリアパスや研修体制の構築」「具体的な取り組みの見える化」などを挙げた。委員からは「離職理由である人間関係や法人の運営理念、結婚・出産も要件に加えるべきだ」などの意見が出た。

政府は消費増税対応や介護離職ゼロ実現を目指す「新しい経済政策パッケージ」の中で、勤続10年以上の介護福祉士の賃金を月額8万円程度引き上げて全産業平均並みとする方針を盛り込んだ。必要な財源は約2千億円(保険料と公費で折半)。厚労省は既存の加算とは別の加算を創設する。分科会では介護福祉士以外への処遇改善を求める意見が多数出ている。

国政ニュース

◎安倍首相が外国人材拡大を表明 (10月24日)臨時国会が開会

第197回臨時国会が召集され、安倍首相は所信表明の中で外国人労働者の受け入れ拡大を目的とする出入国管理法(入管法)の改正に強い意欲を示した。首相は「一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人材を受け入れるため出入国管理法を改正し、就労を目的として新しい在留資格を設ける。出入国管理庁を設置し、受け入れ企業の監督などに万全を

尽くす」などと述べた。

◎決議付きで入管法改正案を了承 (10月30日)自民党総務会

自民党の総務会は、政府が臨時国会での成立を目指している入管法改正案を了承した。同法案をめぐって党の法務部会では慎重論が噴出し、紛糾した。総務会では「日本人の雇用確保や処遇改善に取り組むこと」を政府の基本方針に明示することを決議して了承した。野党内には「日本が方針転換して、移民政策を容認することになる」と反対する声がある。衆院厚生労働委員会が審議が始まる。

ウの目タカの日

こちら傍聴席

◎「移民解禁?」

○:「予想以上に難航しているようだ。与党内にも慎重論があるから野党が勢い付いている」。政治部OB記者が若い記者に話を向けた。臨時国会で外国人材の受け入れ拡大を目的とする出入国管理法(入管法)改正案をめぐって野党の攻勢が続いている。



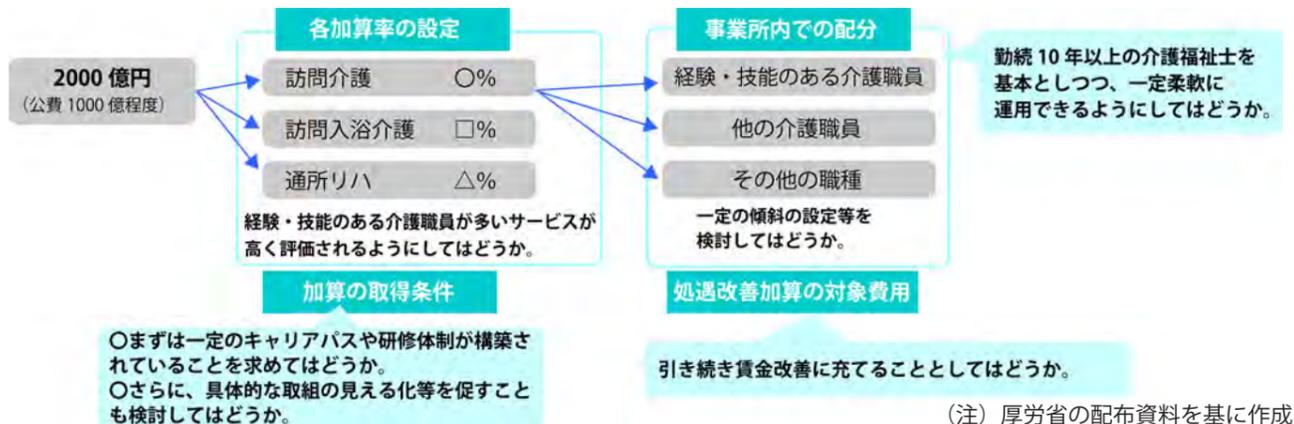
○:「労働力不足を解消するため新しい在留資格を創設して外国人労働者の長期就労を可能にしようというのが改正の狙いです。ポイントが特定技能2号で、無期限の在留や家族の呼び寄せができるようになるので、野党は『実質的には移民政策だ』と主張しています」と野党担当記者が状況を説明した。

○:「安倍首相は『移民政策ではない』と否定しています。政府は成立した後、受け入れ事業の分野や受け入れ人数など省令で明らかにする方針なんです。それに外国人労働者の年金や家族の医療保険をどう取り扱うのかも論点になっています。与党議員の中にも『制度の中身をもっと明らかにしないと、外国人が日本に来たがらないのではないか』と心配する声も出ています」と社会部の女性記者が先行きを案じた。(稿)

【訂正とお詫】

推進協ニュース140号(10月号)の記事中に誤りがありました。お詫ひし、訂正します。○1面「国政ニュース」の見出しの「根本氏」を「根本氏」に訂正します。

「新処遇改善の考え方」



特集

第12回全国研修大会 in 沖縄 2018

11月22～23日全国大会 in 沖縄開催

テーマ「高齢者が幸せになる解決策」

藤田孝典氏が記念講演

全国個室ユニット型施設推進協議会(推進協、赤枝雄一会長)は11月22日～23日の2日間、沖縄県南城市のユインチホテル南城で、第12回全国研修大会 in 沖縄(石島衛大会長、上里絹代実行委員長)を開催する。テーマは「愛むすぶが、しあわせ探し、ゆいまーるのこころで結ぶユニットケア」。記念講演では藤田孝典氏が「高齢者が幸せになる解決策」をテーマに登壇するほか、「ゆいまーるのこころで結ぶユニットケア」をテーマとしたシンポジウム、分科会、福祉機器展など多種多様なプログラムが企画されている。

石島大会長が参加呼びかけ



石島衛大会長
憲章会理事

来る11月22日、23日の2日間にわたって全国個室ユニット型施設推進協議会 第12回全国研修大会を沖縄の地に開催いたします。

今回は地域包括ケアシステムの構築をふまえ、メインテーマを「愛むすぶが、しあわせ探し、ゆいまーるのこころで結ぶユニットケア」といたしました。

シンポジウム、分科会、講演会など、皆様にご満足していただける内容となるよう、沖縄支部の会員施設が一丸となって準備を進めております。

今回は分科会の講師、シンポジウムのシンポジスト、コーディネーターに先駆的な学識者や実践者をお招きしております。また、分科会では会員施設における個別ケアの実践や人材育成などの研究や取り組みの事例発表の場も設けております。

この機会にぜひ沖縄へお越しください。沖縄支部会員一同、心よりお待ちしております。

プログラム

1日目 11月22日(木)

10時30分～18時 福祉機器展
11時30分 受付
12時30分～13時20分 開会式
来賓挨拶、入会10年の施設表彰
推進協活動報告

13時30分～15時 特別講演
「ケアマネジメントで結ぶしあわせ探し」



講師：佐藤信人氏
認知症介護研究・研修東京センター副センター長

15時10分～16時10分 基調講演
「厚生労働省行政報告 これからの介護施策」
講師：厚生労働省

15時30分～18時20分 分科会・事例発表
18時30分～20時30分 情報交換会

2日目 11月23日(金)

8時～13時 福祉機器展
8時30分 受付

9時～10時30分 シンポジウム
「ゆいまーるのこころで結ぶユニットケア」



座長：尾島朱美氏
関東福祉専門学校校長

パネリスト：児玉桂子氏、佐藤信人氏、宮里好一氏、諸見里安知氏、羽鳥訓秀氏

10時50分～12時 記念講演
「高齢者が幸せになる解決策」



講師：藤田孝典氏
NPO 法人ほっとプラス代表

12時10分～12時40分 閉会式

分科会

第1分科会 2F「夢」

《地域包括ケアシステム》
「構築に向けた多職種の協働・連携促進」



講師：羽鳥訓秀氏
一般社団法人おきなわ介護福祉研究所代表

【事例発表施設】縄文の杜関原(新潟)、ゆがふ苑(沖縄)、ニューバード獅子ヶ谷(神奈川県)、岐南仙寿うれし野(岐阜)、はあとあいらんど豊崎(沖縄)、のぞみの杜(長崎)

第2分科会 2F「愛情」

《人材の確保、育成、定着に向けて》



講師：諸見里安知氏
学校法人大庭学園
ソーシャルワーク専門学校校長

【事例発表施設】ヘルシーハイム(福岡)、サークル・ナート(大阪)、ハートステーション(岐阜)、翔裕園(埼玉)、玄海園(佐賀)、ジョイフル名駅(愛知)

第3分科会 2F「熱意」

《環境支援》
「自律支援に繋げる介護環境の工夫と実践」



講師：児玉桂子氏
日本社会事業大学名誉教授
ケアと環境研究所代表

【事例発表施設】しようじゅの里三保(神奈川県)、あさひが丘(愛知)、のではまゆう(鳥取)、共生の里津福(福岡)、東雲の丘(沖縄)、明尽苑(千葉)

第4分科会 1F「未来」

《認知症ケア》
「認知症の人のその人らしさを大切に」

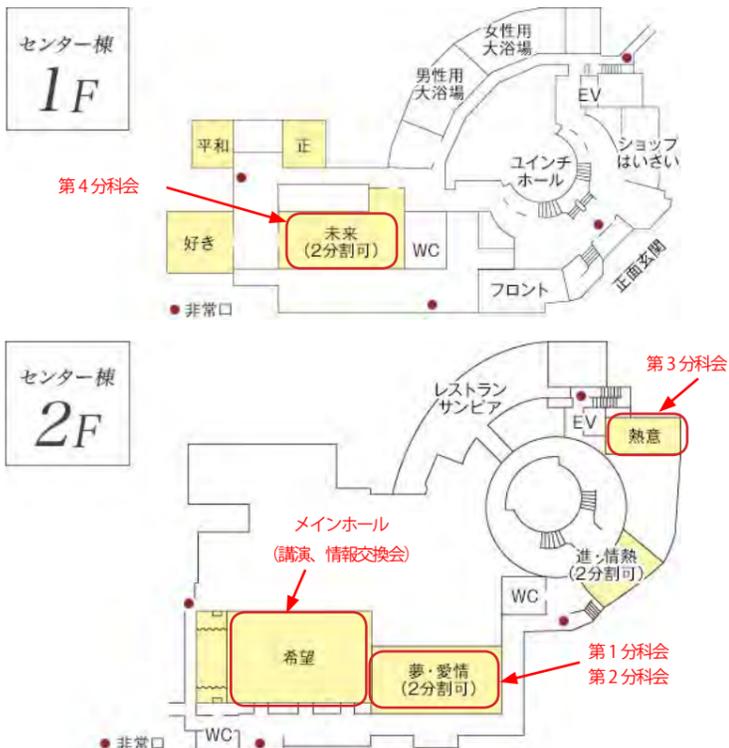


講師：宮里好一氏
医療法人タビック理事長

【事例発表施設】はなの家とむろ(神奈川県)、こころ(福岡)、しようじゅ美浜(千葉)、さつまの里(千葉)、共生の里(福岡)、しようじゅの里三保(神奈川県)

会場：ユインチホテル南城

住所：沖縄県南城市佐敷字新里 1688
TEL：098-947-0111



【アクセス】
○車をご利用の場合：那覇空港より約40分(国道332号線、330号線、県道137号線経由)又は約35分(豊見城東道路・那覇空港自動車道(無料区間)経由)南風原南ICより約15分
○バスをご利用の場合：那覇バスターミナル ゆいレール旭橋駅前より沖縄バス(系統39番百名行き・系統41番つきしろの街行き)で約60分 休暇センター入口バス停より徒歩6分
※1日5便程度、敷地内経由のバスあり(玄関前下車：徒歩0分)

**第12回 全国研修大会
in 沖縄 2018**

11/22(木)～23(金)

お申込みはWEBから <http://suishinkyo.net>
お問合せは沖縄支部 (TEL: 098-946-2051) へ

宮城県

社会福祉法人 萩の里 高齢者福祉複合施設

私の「いちばん」が見つかる町 壱ノ町



～ 馴染みの顔と、安心して暮らす「老人ホームらしくない老人ホーム」～



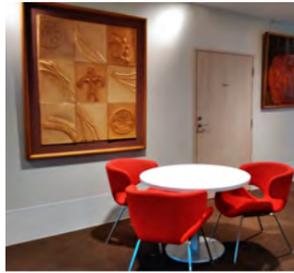
お洒落に盛り付けられた前菜3種とサラダ

地域に開かれた施設
施設には地域の皆様が自由に利用いただけるレストランカフェや美容室、図書コーナー等があります。
レストランカフェ「ヴェルドウーラ」は本格的なイタリアンのシェフに店舗を無償で提供し、運営してもらっています。道路側からも入店でき、入居者やご家族だけでなく、地域の皆様が多く訪れ、ランチタイムは待つ人が出るほどの盛況ぶりです。特に前菜3種、サラダ、パスタ又は



美容室とレストランの奥に見えるのが施設

【法人と施設の紹介】
「萩の里」は、塩釜市を中心とした有志により申請を行い、平成16年8月に宮城県知事の認可を得て設立し、今年で、法人創立14年を迎えました。25年には利府町赤沼(松島海岸1・Cから車で3分)の地に「壱ノ町」を開所しました。阿部仁美理事長(統括施設長を兼務)は地域に開かれた高齢者施設を作りたいという思いで設計の段階から関わり、「私の「いちばん」が見つかる町」であってほしいという願いを込めて「壱ノ町」と名付けました。



パブリックスペース



地域の方の工芸品を販売



正面入口

寄贈された美術品を展示
訪れる皆様に美しいものや本格的なものに触れていただけるよう、寄贈いただいた美術品を展示し、売店では地域の方の工芸品の展示販売をしています。



施設入り口近くにある図書コーナー

ピザ、ソフトドリンクのセットメニューが好評です。
美容室「R by dream」もレストラン同様に、美容師に店舗を無償で提供し、運営してもらっています。
図書コーナーは子どもたちが宿題をしたり、本を読んだりする集いの場となっていて、特に夏休みは多くの子どもたちでにぎわいます。

私は歯科医師でもあり、入居者の方に最後まで口から召し上がっていただくために日頃からの口腔ケアや食事形態にも力を入れていきます。施設らしくない施設、地域の方々が集まる施設、入居者が地域に溶け込んで暮らせる施設でありたいと考えています。



阿部理事長

【阿部理事長から】
ばれていきます。
変則勤務を導入
地方で多くの人材を確保するのは容易ではありません。その上、施設には人手が多くなると必要な時間が必ずあります。そこで朝食、夕食の人手のいる時間帯に人を手厚く配置できるように、昼間の休憩時間を4時間設定するといった変則勤務を導入しました。変則勤務に応じてくれる職員には1日当たり2千円の手当てを支給しています。家が近い主婦の人にとっては、昼時に自宅で家事を済ませることができると、給与も増えるので喜ばれています。

キッチン付きの家族室
遠方から訪れるご家族がゆったりとお過ごしいただけるよう、キッチン付きの家族の宿泊室を完備しています。



家族室



施設内の通路

〒981-0101 宮城県宮城郡利府町赤沼字大貝 93番地1 TEL.022-356-5001 (代表) FAX.022-356-5011

ユニット型100床、ショートステイ20床



(介護保険委員長) 藤村(二朗)

介護保険制度だけでも、制度や基本報酬、加算などを理解して説明するのは容易ではありません。それに加えて年金制度や医療保険制度とますます理解が難しい状況です。専門家による諮問は行われていますが、それを負担する国民には「難しい過ぎてね」と嘆きの声ばかりが目立ちます。行政の継続性は重要ではありませんが、シンプルな制度が望まれます。

◎判断しやすいシンプルな制度を
視点を改めて更に論じると、高福祉高負担を望む立場もあれば、低福祉低負担を望む立場もあるでしょう。国家の立場からすれば、歳入と歳出や経済成長、また、その基礎となるものとして、労働人口の推移や産業若しくは国民一人あたりの生産性なども関係が深くなります。複雑すぎて何が妥当なのか国民が判断できない状況です。

【連載】第8回
30年度改定
要点ゼミ
社会的妥当性とは
立場によって賛否両論
強制加入の介護保険制度における、制度や報酬の妥当性は、その置かれた立場によって賛否両論あります。ご存知のとおり、社会保障制度は保険、税金、利用者負担(応益負担や応能負担)を財源とし、運用されています。
◎利用者負担の公平性、平等性
利用者負担額には、利用者の世代や世帯の主たる収入の内訳等も加味されています。例えば、特養では、第一段階と第四段階の方が同じ食事を召し上がっても、負担する食費は同額ではありません。また、有料老人ホームと介護三施設では、入居者の食事において、完全契約であったり補給給付があったりと、仕組みは異なっています。また、長年にわたり保険料を負担し続けてサービスを利用しなかったケースもあれば、保険料を負担する期間は短くとも長期間サービスを利用するケースもあります。社会保険制度において公平平等か論じるとその答えは置かれている立場によって異なります。



社会福祉法人 兼愛会
しょうじゅの里三保(神奈川)
施設長: 赤枝真紀子

いきがい倶楽部
「できない」と
決めつけない事が大切!

しょうじゅの里三保には、入居者様やデイサービス、ショートステイの利用者様が趣味を継続できる時間と場所を提供する『いきがい倶楽部』があります。今回は、絵手紙と手芸をご紹介します。

最初はできないと思っていた方が、少しずつできるようになって表情が明るくなったり、心細そうにされていた方が趣味を通じて仲間ができて楽しそうに過ごされています。

スタッフが、年齢だから、認知症だから、指が思うように動かないから...と理由をつけて『できない』と決めつけないことが、大切だと思っています。(いきがい倶楽部: 遠藤きぬゑ、高橋由美子)



和気あいあいとかばんを作成中



スタッフがやさしくサポート



2時間で絵手紙が2枚完成!



3才から始めたピアノを
手芸の部屋で演奏



熱心に筆を動かし絵手紙を作成
時間があっという間に過ぎていきます



社会福祉法人 近代老人福祉協会
ニューバード(神奈川)
施設長: 大和田竜太

セミパブリックを
美の空間に
女子力に脱帽



ネイルの
仕上がりに満足!



お洒落をして
中華街へお出かけ



セミパブリックを大改造
サロンの完成!



お出かけ前のTさん



介護ニュース・ダイジェスト

10月1日～10月31日

介護に関する政府機関や民間団体の動きを掲載しています。詳細は厚労省や各団体のHPなどをご覧ください。

■上限超過分は不支給

10月1日 福祉用具貸与
福祉用具の貸与価格が上限額を超えた場合、超えた分は介護保険給付を受けられなくなる制度が始まった。

■根本厚労相が就任会見

10月2日 少子高齢化対策に意欲
根本厚労相は就任後初の記者会見で首相から「介護予防や健康づくりのインセンティブを強化してほしい」と指示された。国難とも呼ぶべき少子高齢化に真正面から立ち向かうなどと述べた。

■30年度の調査票を了承

10月3日 介護報酬検証・研究委
介護給付費分科会の介護報酬検証・研究委員会は30年度介護報酬改定の調査票案(7項目)を了承し、分科会に報告することを決めた。来年3月までに調査結果を分科会に報告する。調査項目(目的)は①サービスの質の評価(褥瘡マネジメント加算)②介護ロボットの効果(見守り機器導入と夜勤職員配置加算見直し)③居宅介護支援事業所・介護支援専門員の業務実態(ケアマネ業務の実態)④福祉用具貸与価格(全国平均貸与価格と上限設定)⑤介護医療院のサービス提供実態⑥特養における安全・衛生管理体制の在り方(介護事故対応)⑦老健施設における安全・衛生管理体制の在り方(同)。

■生活援助サービスの手引き

10月9日 頻繁回数削減の自制促す
厚労省は「統計的にみて通常よりかけ離れた回数の生活援助中心型サービスの利用」の手引きを地方自治体に連絡した。かけ離れた回数をケアプランに位置付ける場合の考え方や事例(5例)を盛り込んだ。地域ケア個別会議の進め方や専門職の役割などをガイド・アドバイスしている。一方、利用者や事業者の強い反発にも配慮し、通知に「利用制限するものではない」と付記した。

■「客観的な検証」を要求

10月9日 財政審
財政制度等審議会(財務相の諮問機関)は社会保障制度改革の具体策を提案した。介護関係では「介護報酬改定のたびに加算が創設・拡大されている」として「個々の効果についての客観的な検証が不十分」と批判。加算の整理や統合を要求。また厚労省の介護事業経営実態調査の精度を高めるよう求めた。

このほか、「要介護1、2に対する生活援助サービス等の地域支援事業への移行」「介護の地域差の適正化」「老健施設、介護医療院、介護療養型医療病床の多床室の室料見直し」「介護事業の統合・再編」「介護ロボットやIoTなどを活用した生産性の向上」自己負担の原則2割なども要求した。

■新在留資格の骨子案を了承

10月12日 関係閣議
政府は、外国人労働者の受入れを来年4月から拡大するための新しい在留資格制度の骨子案を関係閣僚会議で了承した。出入国管理法などの改正案を臨時国会に提出する。骨子案によると、一定の技能水準や日本語能力のある外国人の在留資格に新たに「特定技能」を設置し、対象職種を介護(建設、農業など)にも広げる。「特定技能」は「1号」(滞在期間は最長5年)と、熟練した「2号」(長期滞在や家族の呼び寄せが可能な2区分とする。「1号」から「2号」になるには技能と日本語能力の試験に合格することが原則必要とした)。

■推進協が消費増税で意見陳述

10月15日 給付費分科会ヒアリング
第162回介護給付費分科会の消費増税に関する団体ヒアリング(議題1)で推進協の藤村二朗介護保険委員長は「介護・居住費の見直し」と「施設負担分の介護報酬引き上げ対応」を求めた。10月号に詳細を掲載。(議題2)介護人材の処遇改善 厚労省はベテラン介護職員に対する処遇改善について「現行の処遇改善加算とは別の加算で対応する」との考えを示した。介護職以外の職員への処遇改善に配慮する。(議題3)30年度改定の効果検証の調査票案 「褥瘡マネジメント加算」「介護ロボット」「介護事故」などの7項目の各調査票案を了承。

■来年10月引き上げを表明

10月15日 消費増税で安倍首相
安倍首相は政府の臨時 閣議で消費増税率引き上げ(8%→10%)を、予定通り、来年10月1日に実施すると表明。消費増税対策に全力を挙げて対応するよう関係閣僚に指示した。対策は①31年度と32年度の政府予算で特別措置を実施②軽減税率の導入③3ポイント還元などの支援④幼児教育の無償化などが柱。

■IT補助金の活用呼び掛け

10月16日 29年度補正予算事業
厚労省は介護事業者が「ITツール導入補助金」を積極的に活用するよう都道府県に事務連絡した。生産性向上を目的とする経産省の29年度補正予算事業で、ソフトウェアやクラウド利用料などのITツールが対象。補助額は上限50万円、下限15万円、補助率2分の1以下。今回は3次募集で応募締め切りは11月19日の予定。

■ライブラリーの点検促す

10月19日 大災害の備え
厚労省は社会福祉施設等が自然災害に備えてライブラリーを点検するよう都道府県などに連絡した。豪雨や台風、地震などでライブラリーが寸断される事態が発生したことから万全を期すよう促している。

■厚労省が改革本部を開設

10月22日 2040年展望
厚労省の「2040年展望」が発表された。団塊ジュニアが65歳を迎え始める40年を見据え、医療、介護サービスの生産性向上や健康寿命の延伸、社会保障制度の持続可能性の確保、多様な就労などをテーマにして施策を推進する。

■「全世代型」の論議を開始

10月22日 未来投資会議
政府の未来投資会議が開かれ、安倍首相は介護事業者に対するインセンティブ措置を大幅に増やすなどして生産性の向上を促す。次の介護報酬改定で「インセンティブ措置の強化」を推進する。

■3年後、約4割が離職

10月23日 医療、福祉の大半者
厚労省が昨年3月に卒業した新卒就職者を対象に3年以内の離職状況を調べたところ、大半者の約3割(31.8%)、高卒者の4割(39.3%)が3年以内に離職していることが分かった。産業別では、「医療、福祉」はそれぞれ37.8%、47.0%で、ともに全産業平均の離職率を上回った。

■一体化の論点を整理

10月24日 有識者会議
高齢者保健事業と介護予防一体化に向けて医療と介護保険のデータを活用するなどしてフレイル(虚弱)予備群を把握し、健康相談や社会参加を呼び掛けるなどの論点を整理した。

■入管法改正案の提出を表明

10月24日 臨時国会で安倍首相
安倍首相は臨時国会の所信表明の中で、即戦力となる外国人労働者の受入れを拡大するため会期中に出入国管理法改正案を提出する考えを示した。会期は12月10日まで48日間。

■介護アータ連結の方向性を確認

10月25日 有識者会議
厚労省の「医療・介護データ等解析基盤に関する有識者会議」は、医療と介護のデータを連結して有効利用する上で「研究者への情報提供は国が効率的に審査する」「実費は利用者負担とする」などの方向性を確認し、次回、意見集約することを決めた。

■入管法改正案を了承

10月30日 自民党総務会
自民党の総務会が臨時国会に提案を予定している外国人労働者受け入れ拡大を目的とする入管法改正案を了承した。決議として「日本人の雇用や処遇改善に取り組むこと」を基本方針に明示することを政府に求めている。

■傾斜配分で処遇改善

10月31日 介護給付費分科会
第163回介護給付費分科会で、厚労省は更なる介護職員の処遇改善の対応策として、加算の配分①技能・経験のある介護職員(原則、配分10%以上)②他の介護職員③その他の順に一定の傾斜を設けて配分する。④キャリアパスや研修体制の構築などを要件とする一を提示した。

ズバリ回答！ 人事・労務のお悩み

◎ダブルワーク



【今月の相談内容】

職員が他の施設で就業したいとダブルワークの届出をしてきました。現在の就業規則では許可制としていますが、今後働き方改革関連においては、厚労省のモデル就業規則に則った届け出制となるのでしょうか。

【回答】

◎モデルではなく許可制のまま
厚労省のモデル就業規則は使用せず、許可制のままよいと思います。厚労省も「あくまでモデル例であり、就業規則の内容は事業場の実態に合ったものとしなければなりません。」としています。

◎ダブルワーク 4つの課題

政府、働き方改革の一環により、平成30年1月に「副業・兼業の促進に関するガイドライン」が出され、その後、ガイドラインのQ&Aが出されていますが、ダブルワークには以下の課題があります。
①労働時間管理：施設で8時間勤務したのち、他の事業所で勤務する場合、他の事業所側で割増賃金を計算する必要がある。その逆も発生する可能性がある。週、及び月においても双方で確認する必要がある。
②労働災害(補償)：施設から他事業所への移動にかかる通勤災害を除き、災害補償は発生した就業先の賃金分のみが給付の算定基礎となります。休業する場合、両社からの賃金合計が基礎となるわけではありません。
③雇用保険：生計を維持するに必要な主たる賃金を受ける雇用関係のみしか被保険者となりません。失業時にも②と同様のことが発生します。
④社会保険：両社でそれぞれの被保険者となる要件を満たした場合(各30時間以上で60時間)、報酬月額を合算し、標準報酬月額を算定し保険料を決定し、両社で按分した保険料を支払うことになり、両社を合わせて適用要件を満たしたとしても、適用されません。

以上のようなことを、職員様に説明した上、許可制を継続していただくことをお勧めいたします。
(監事・特定社会保険労務士 栗田淳二)

◎入会施設のご紹介◎

- ◆特養しようじゆの里小野
- 支部名 神奈川支部
- 法人名 社会福祉法人兼愛会
- 法人代表者 理事長 赤枝雄一
- 施設代表者 施設長 薄井裕二
- 住所 〒230-0047 横浜市鶴見区下野谷町4-145-18
- 電話 045(521)8818
- ◆介護老人福祉施設 ケアホーム三浦
- 支部名 神奈川支部
- 法人名 社会福祉法人せいざん福祉会
- 法人代表者 理事長 武久洋三
- 施設代表者 施設長 青野真也
- 住所 〒238-0111 三浦市初声町下宮田3516-1
- 電話 046(888)5877

【用語解説】

褥瘡マネジメント加算
30年度の介護報酬改定で、特養(地域密着型含む)と老健のアウトカム評価として、新設された加算。褥瘡予防のために、褥瘡の発生と関連の強い項目について定期的な評価を実施し、その結果に基づき計画的に管理することで、リスクの高低もしくは有無にかかわらず10単位(月)を全利用者に算定できる。10月から介護報酬検証・研究委員会により、褥瘡マネジメントの実況や褥瘡マネジメント加算に関する状況などの調査が実施されている。

出入国管理庁

新たな外国人受け入れなどに向け、政府が法務省の出入国管理局を庁に格上げし、来年4月に設置を予定している。現在、受け入れ後の悪質な紹介業者の存在などが問題になっており、出入国に関する事務や不法在留の取り締まりや在留外国人の生活環境整備など、受け入れを円滑に進めるための管理を充実させていく役割を担う。政府は開会中の臨時国会で出入管理法改正案を可決、成立させたいとしている。

◇使って納得！便利グッズ◇

我が家の85歳になる母の部屋のテレビの音量が大きすぎて、困っていました。そこで、「お手元テレビスピーカー」を購入したところ、こんな小音で聞こえているのかと思うほどの音量で聞き取れるようになりました。お値段以上の効果に大満足です。お値段以上、各種メーカーがお手元テレビスピーカーを約5千円〜2万円程度で販売しています。有線と無線の2タイプがあり、無線の方がテレビとスピーカーをコードでつなぐ必要がないので便利ですが、値段はやや高めです。福祉施設でも活用してみたい。



横幅19cmでコンパクト

テレビが数台置いてあるユニット内にもおすすです。お互いに気兼ねなく適切な音量でテレビを楽しむことができます。 (山)

◇今後の予定◇

ユニットケア研修

- ◎第3期ユニットリーダー研修
福岡 1月9日(水)〜10日(木)
名古屋 1月17日(木)〜18日(金)
東京 1月24日(木)〜25日(金)
- ◎第2回ユニットケア施設管理者研修
東京 2月6日(水)〜8日(金)
- ◎第3回理事会 3月15日(金)

◇事務局から◇

推進協ニュース11月号が届いてから約1週間後、沖縄で全国研修大会が開催されます。人材不足の折、職員を研修に出すことが厳しい状況と存じますが、追加でお申込みいただきご協力をいただきありがとうございます。お申込みは前日まで承っております。お申込みなしでも当日のご参加も受け付けております。一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。よろしくお願いたします。